

皆様、日々のお務めお疲れ様でございます。社内向け情報誌、第40号です。

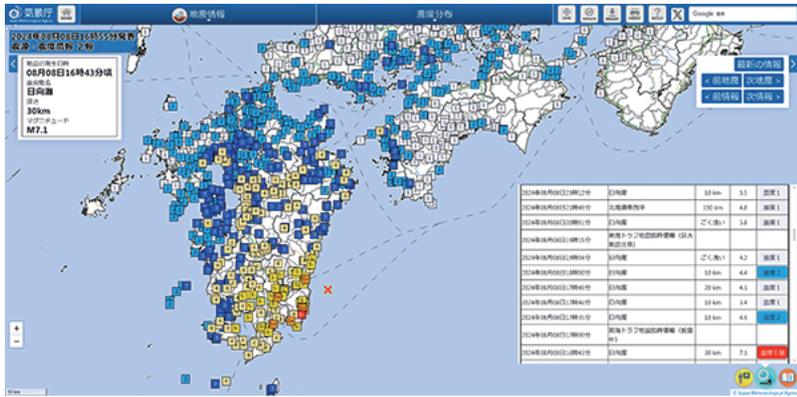
パラリンピック開催

8月29日にパラリンピックの開会式が放送されました。オリンピックの閉会式から約2週間後の開催です。ここ数回のオリンピックとパラリンピックの視聴率を比較すると、オリンピックは50%近くあるのに対し、パラリンピックは20%にも満たない状況です。その背景として「身近に障害者が居ない」「パラスポーツを知らない」という理由があるそうです。もちろん視聴率が全てではありませんが、関心の目安になるのは事実です。SDGs的にもパラリンピックの認知度向上は大事な事案だと感じます。例えばオリンピックの前にパラリンピックを開催するだけでも、関心や視聴率も変わってくる気がしますよね。ちょっとしたことでお気を付けてみたいものです。



【南海トラフ地震】

巨大地震注意、発表されてしまいました。来たるべき日が来たという感じですよ。



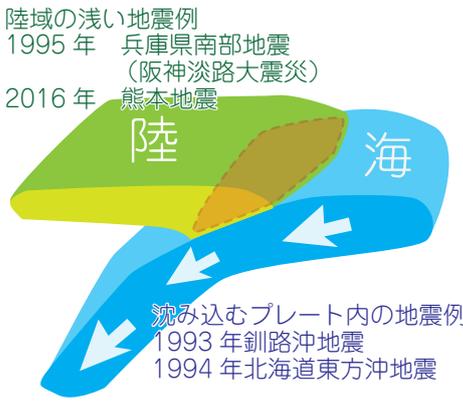
この社報では南海トラフについて昨年5月に一度触れて今年1月から半年間の6回に分けて連載してきました。そこからすぐに先日の出来事になりました。記憶が新しいうちに、今号では南海トラフ地震について改めてまとめます。

①まずは南海トラフの場所です。



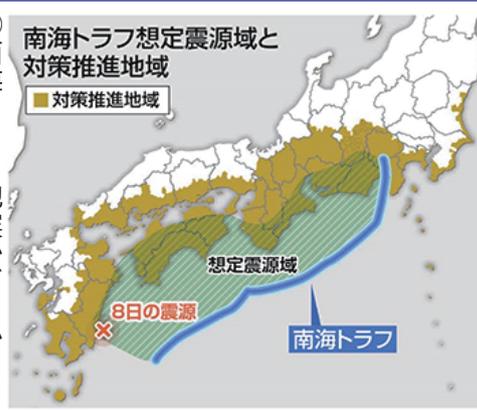
トラフ：海溝より浅くて幅の広い、海底の溝状の地形。南海トラフは、フィリピン海プレートがユーラシアプレートの下に潜り込んで形成されている。

②続いて地震発生メカニズム。

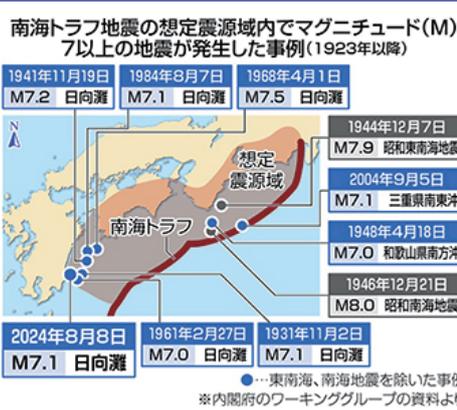


下のプレートが陸のプレートの下に潜り込むことで、図のオレンジ部分が引きずり込まれます。それが下がった反動で緑部分が跳ね返って戻ること起きる振動が地震です。このとき、図の青い海のプレートでも緑の陸のプレートでもズレと地震が起きますが、このプレート同士が接しているオレンジ部分の「プレート境界地震」が

最も激しくなる可能性があり、東日本大震災もこれでした。このオレンジ部分の面積が大きいのが、南海トラフです。先日の地震も「プレート境界地震」とされています。



③南海トラフ地震かどうか



まず、想定震源域に震源があるかどうか、そのマグニチュードが7以上かどうか。これに当てはまると、このプレート丸ごとと同規模の地震が誘発されます。今回、今後いつそれが起きてもおかしくない、となりました。

9月の最初の土日に、サンマリンスタジアムで超大型フェスが開催されます。かなりの人数が動員されるために県内で宿泊することができず、県外に宿泊して会場を往復する参加者も多いようです。そのため会場近隣に限らず開催日とその前後は道路の混雑が予想されます。それでは来月も、皆さんご安全に頑張りましょう！



いつもありがとう。

このところ、地震台風と災害に見舞われます。備えをしても、実際そのときには半分のことしか出来ないのではないのでしょうか。日頃の準備と心構えが大切です。今一度考えておきましょう。

今年の夏は暑さが違っているせい、毎年の庭で蝉がうるさいほど鳴いていたのが、全然と言って良いくらい聞かなくなりました。私くらいでしょうか。

子どもたちも夏休みが終わりまたいつもの生活が始まりました。十分に注意して運転をお願いします。

【9月のお誕生日】

- 5(火) ○○○○さん
- 8(金) ○○○○さん
- 8(金) ○○○○さん
- 25(月) ○○○○さん

